

学力向上に向けた授業改善のポイント（中学校国語）

県北教育事務所

◇ 目的や意図に応じた構成を工夫して書く（「書くこと」）

「事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書く」（第2学年「書くこと」）に関連する問題です。

＜県北地区の子どもたちは…＞

A4	1(正答)	2	3	4	以外	無解答
県北	60.7	3.6	1.3	25.9	5.1	3.4
県	61.6	3.8	1.1	24.8	5.1	3.5
全国	64.0	3.8	1.1	23.2	4.6	3.3

誤答で多いものは、「4」（25.9%）です。字数の制限を守り、意見1「受付で申し込むこと」を入れて書くことができましたが、意見2「数に限りがあること」を入れずに書いている生徒が25%います。

＜学習指導に当たって＞

伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちの根拠を明らかにして書く

伝えたい事実や事柄、意見などを相手に効果的に伝えるためには、目的や意図に応じて説明や具体例を書き加えたり、内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりすることが大切です。例えば、係からの報告や記録の文章に不足している情報を検討して、説明や具体例を書き加えるなどの学習活動に取り組むことが大切です。（参照）「言語活動事例集」P21～22、41～42

図書だより 第一中学校図書委員会

電子書籍を読んでもませんか？

電子書籍とは？
パソコンの画面などで読むことができる電子化された書籍のことです。

電子書籍を読むには？
家にパソコンなどがなくても、市立図書館に行くと読むことができます。ぜひ一度、体験してみてください。

おすすめの電子書籍は？
「私たちの町の歴史」という本をおすすめします。私たちの暮らしがどのように発展してきたかが紹介されています。

利用の仕方を詳しく知るには？
電子書籍の利用の仕方を詳しく書いたパンフレットが学校図書館にあります。興味がある人は学校図書館に来てください。

【意見1】
市立図書館のパソコンを利用するには、受付で申し込めばよいことを伝えよう。

【意見2】
市立図書館のパソコンは、数に限りがあるので書いておくとよい。

【2】
次は、図書委員の鈴木さんが書いた「図書だより」の下書きと、それを読んだ図書委員が考えた「意見1」と「意見2」を、これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【図書だよりの下書き】

【H30全国学力・学習状況調査A問題 2二】

◇ 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く（「読むこと・書くこと」）

「目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりする」（1学年「読むこと」）及び「事実や事柄、意見などを相手に効果的に伝わるように書く」（2学年「書くこと」）に関連する問題です。

＜県北地区の子どもたちは…＞

A4	1(正答)	2	3	以外	無解答
県北	12.1	17.8	18.8	43.7	7.5
県	12.0	18.4	19.4	42.8	7.4
全国	13.3	18.9	20.1	40.7	7.6

「天地無用」の意味を誤って受け取る人の多い理由を、説明文の構成や展開に着目して要約することができていない生徒が4割以上います。

＜学習指導に当たって＞

目的に応じて文章の内容を読み取る

目的に応じて文章を的確に読むためには、中心的な部分と付加的な部分、事実と意見を読み分け、文章の構成や展開を捉えて読むことが大切です。段落の相互関係を押さえたり、大きなまとまりごとに要約したりして内容を理解していきます。また、図表などが示されている文では、文章と図表との関連を捉え、書き手の意図や効果を考えます。（参照）「言語活動事例集」P25～26

【H30全国学力・学習状況調査B問題 1三】

- ★ 根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味して書く指導を工夫しましょう。
- ★ 読む目的を明確に要旨をまとめたり、考えを交流したりする指導を工夫しましょう。